

会議録

案 件	令和4年度 第1回子ども・子育て会議について		
日 時	令和4年8月19日（金）13:30～16:30	開 催 場 所	本庁舎4階会議室1ABC
出席者	【子ども・子育て会議委員】 永田会長 他14名 【事務局】 原田こども希望部長 他15名		
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議 会議資料（次第～さかがわ幼稚園あり方） ・第2期子ども・子育て支援事業計画 【概要版】 ・子育てガイドブック 		
概 要			
<p>1 開会（事務局） 欠席者3名により、委員の過半数以上の出席により会議の成立（15人／18人）</p> <p>2 会長あいさつ 永田会長より自己紹介及び挨拶</p> <p>3 委員・事務局紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名簿の一部、誤りの訂正 ・委員については、名簿順に自己紹介 ・事務局については、名簿参照（新規委員のみ色塗り） <p>4 副会長選任・あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小澤委員を指名 ・小澤副会長より自己紹介及びあいさつ <p>5 説明事項</p> <p>(1) 第2期掛川市子ども・子育て支援事業計画について（事務局） 概要版により計画の概要説明</p> <p>(2) 就園状況について（事務局） 資料1により、保育ニーズの増大、幼稚園ニーズの減少、待機児童状況、ソフト対策、 国定義の待機児童・入所保留者の内訳、令和4年度の主要事業について説明</p> <p style="text-align: center;">～質疑応答・意見～</p> <p>（意見） 子ども・子育て会議発足時の待機児童及び現在の待機児童の状況の説明 待機児童がある程度解消されている現状により、今後は教育の質向上が必要（委員）</p> <p>（意見） 保護者の中に、兄弟で同じ園に入園できないケースがあり、保護者の送迎で苦労している。 幼稚園児は、保育園児と交流することなく、一時預かりで対応しているため、そのような状況 に対して、制度等により何か出来る事がないかと思うことがある。（委員）</p> <p>（補足） 概要版2ページにより、第2期計画の考え方について補足説明。3つの視点（子ども、家庭、 地域）の上に各事業がライフステージごとに設けられている。（会長）</p>			

6 協議事項

(1) 利用定員の設定について（事務局）

資料2により変更箇所の説明。

- ① きとうこども園（1号 270→68、2号 60→105、3号 30→77）
土方、佐束、中幼稚園、城東保育園 → 認定こども園化により、きとうこども園に再編
- ② 掛川聖マリア保育園（2号 90→84、3号 60→56）
- ③ みなみさいごうのぞみ保育園（3号 45→57）
おだかちょうのぞみ保育園（3号 12→0）
- ④ 千羽すびか保育園（2号 87→67）
- ⑤ すこやかこども園（1号 154→142、2号 84→96、3号 76→84）
- ⑥ よこすかぬく森こども園（1号 75→45、2号 75→111、3号 80→74）
- ⑦ おおぶちそよ風こども園（1号 30→21、2号 60→69）

(2) 子ども・子育て支援事業計画の「量の見込み」の実績値について

- ・計画冊子P56～P57により、「量の見込みと確保方策」について説明。（事務局）
- ・資料3により、「量の見込み」の実績値及び見込値を説明。（事務局）

(1) 1号認定

- ・保育ニーズの高まりにより計画に対して、実績値は下がってる。
- ・今後についても、下がる見込。
- ・施設整備等により「確保方策」が「量の見込み」を上回っている。

(2) 2号認定

- ・計画に対して、近い数値で推移している。
- ・今後も計画値に近い数値で推移していく見込。
- ・施設整備等により「確保方策」が「量の見込み」を上回っている。

(3) 3号認定（0歳児）

- ・出生数の減により、推計値も下がっていく見込。
- ・施設整備等により「確保方策」が「量の見込み」を上回っている。

(4) 3号認定（1・2歳児）

- ・保育ニーズは、今後も増えていく。
- ・施設整備等により「確保方策」が「量の見込み」を上回っている。

(5) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

- ・10年前の学童保育は、23～24か所（900人程度の利用者）だった。
- ・施設整備を進めたいが、公共施設再配置方針もあり、施設を増設することに制限がかけられているので、既存の施設（余裕教室、旧幼稚園、旧保育園、元料亭）を活用して学童保育を実施している。
- ・運営主体が社協、地域、保護者会等がある。
- ・施設の老朽化、高齢化、支援が必要な児童も増えているのが課題。
- ・量の見込みは、年によって差があり推計は難しいが、既設の施設を利用して確保方策により対応していく。

(6) 放課後子ども教室

余裕教室、体育館を利用し、中学校区の学園化構想の中で、学園として5か所で実施している。

(7) 時間外保育事業

計画値より少ないが、今後は増えていく見込み。

(8) 一時預かり事業（幼稚園型）

令和2～3年度の実績値は、計画値に対して下回っているが、ニーズがあり、増加傾向にある事業であるため、令和4年度以降の計画値は、見込みと同数を見込む。

(9) 一時預かり事業（幼稚園型を除く）

待機児童対策で保育施設が増え、保育園の入所者数が増えることにより実績値は減っており、今後も減っていく予定。

(10) 病児・病後児保育事業

はぐくみクリニックの中のはぐるーむで実施している。新たな施設を建設する予定はないため、確保方策も1か所で見込む。

(11) ファミリー・サポート・センター事業

令和2年度は、コロナの影響により実績値は少なかったが、令和3年度は計画値に近い数値に回復した。令和4年度以降は、計画値と同数を見込む。

(12) 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

まきばの家と契約を締結している。

ファミリー・サポート・センター事業、障がいサービス等の他のサービスを利用することにより利用者はなかった。令和4年度以降は、半数を見込んでいる。

(13) 地域子育て支援拠点事業

令和2年度、令和3年度は、コロナウイルスの影響により閉館等の措置を取っていたため、少ない。令和4年度以降は、コロナ対策を徹底し開館しているため、計画と同数を見込んでいる。

(14) 利用者支援事業（基本型）

子育てコンシェルジュ事業。こども政策課で実施しており、今後も同様。

利用者支援事業（母子保健型）

徳育保育センター、5か所のふくしあで子育て相談を実施しており、今後も同様に実施予定。

(15) 乳児家庭全戸訪問事業

令和2～3年度については、出生数が減った影響で実績値は少なかった。

令和5年度以降は、希望的な観測もあるが、計画値と同数を見込んでいる。

(16) 養育支援事業

社協の指導員と保健師が、合同で訪問をおこなっている。コロナの影響で不安を抱える親が増加しているため、令和4年度以降は、計画より多く見込んでいる。

(17) 妊婦健康診査事業

妊婦に対して、出産までの妊婦健康診査に対して14回分の助成券を出している。今年度から多胎の妊婦に対して5回分多く出している。

～質疑応答・意見～

Q 利用定員について（P 7・資料 3）

過去には、県の指示により、2号・3号の定員を減員する事は難しかったと思う。
状況が変わったのか、経緯を知りたい。（委員）

A 現在は、利用定員の減少について、現状、県からそのような指示は無く、実情や保育士の確保等の現状に合わせて変更している。（事務局）

Q 「量の見込み」で確保方策が 100%を上回ってれば、定員を減らしても良いということか？（委員）

A お見込みのとおりです。ただし、千羽すびか保育園については、再来年度に、開園から3年となり全歳児が入園することになるため、2号定員を 20 名増やして元の定員に戻す予定です。（事務局）

Q 今後、満3歳児により、1号認定の数が増える可能性があるため、今後も念頭に入れて、利用定員の変更をしていかなければならない。（委員）

A 今後は、満3歳児の入園について、状況を検証しながら進めていくようにします。（事務局）

7 報告事項

(1) 子ども・子育て支援事業計画に掲げる主要事業の実施状況について

資料4により、主要事業の令和3年度の実施内容及び令和4年度の実施状況について、事業担当課より説明（○印がついている事業のみ）。

(2) さかがわ幼稚園の今後の方向性について

資料5により、さがわ幼稚園の今後のあり方について説明。

～全体を通して、質疑応答・意見～

Q 外国人保育事業（資料P23）

外国籍の子が言葉の壁に苦勞している。

外国籍の子どもが小学校に就学する際に、特に苦勞する。→過去には、菊川市の「虹の架け橋」を経由して小学校に入学した。今後、このような外国籍の子どもへの支援に力を入れなければならないのでは？（委員）

A 入学の支援をするのに、発達検査を実施することが多い。言葉の壁のために、発達検査の事や、検査結果を正確に伝えられないことがある。対応として、公立園にいる外国人支援員を同席させることができる。園にいる支援員は、ポルトガル語しかできないが、他言語が理解できる人を紹介してもらい派遣することも出来るので、全ての言語に対して対応できるかはわからないが、発達検査で言語で困ることがあったら、まずは、こども希望課に相談してほしい。（事務局）

Q 少子化が顕著。どのように出生数を上げていくか（事業化）を検討しなければならないと思う。

A こども政策課で令和3年度から結婚新生活支援事業を始め、一定の条件を満たす新婚世帯に対してアパート代、引越し代の一部を補助している。

また、県のマッチングシステムがあるため、これに参加し、出会い事業にも力を入れている。都市政策課の事業で、子育て世代向け住宅供給プロジェクト事業（資料P26）を実施し、補助金を交付している。（事務局）

Q 子ども・子育て会議の協議事項については、これで協議した結果、次年度の予算に反映されていくということで良いのか？ 協議をするとは何なのか教えて欲しい？（委員）

A 子ども・子育て会議条例第2条（冊子P107）の所掌事務(1)(2)に記載のある利用定員に関することを取り扱っている。そのため、定員変更に関してはこれを協議して、来年度4月1日に反映する。

また、所掌事務(3)の子ども・子育て支援事業計画に関しては、協議事項の(2)として「量の見込み」の実績値として扱っている。今年度が、計画の中間年度であるため、見直しの必要性があるかどうかを協議事項として挙げさせていただいた。事務局としては、教育・保育部分について、計画の範囲内で動いているため、中間見直しはせずに進めていきたいと考えている。（事務局）

Q 子ども・子育て会議条例第61条第7項に記載があるが、市が支援事業計画を定め、変更しようとするときは、子ども・子育て会議の委員の意見を聴かなければならないとなっている。決定権がある訳では無いが、この会議は意見を言う場であるため、積極的に意見を言うべきである。（委員）

A 計画は5か年計画であるが、毎年、見直しをしている。

定員変更やさかがわ幼稚園に関することは、午前中の全員協議会にて説明をして、この会議に諮ることも説明している。（事務局）

Q ペアレントプログラム（P24）について、説明してほしい。（委員）

A 子育ての際に、子どもの行動や発達に対して不安のある保護者を対象に、資格を持った支援者が講義を実施するもの。令和3年度は、佐東幼稚園で実施し、令和4年度は、認定こども園と支援センターで実施する予定。（事務局）

Q 協働モデル事業（P24）は、どのような事業か、今募集しているか？（委員）

A 先駆的な子育て事業を実施する団体に対して1件につき20万円の委託により事業実施する。

令和3年度は、コロナの影響で子育て団体が活動を休止していたため、応募が無かった。

令和4年度は、現在までで、応募のあった事業者を選定委員会で1件選定し、事業実施することになった。（事務局）

(意見) 児童発達支援事業（P27）で、支援の必要のある子どもが増えている中で、現在、市と第四めばえについて進めさせていただいている。

おやこたけのこ教室について、1クラス増加予定とあるが、乳幼児健診で子どもの成長に不安を感じる保護者が待っている状況が長くなるため、できるだけ早く推進していただきたいと思う。（委員）

(意見) 保護者がI PADの利用に慣れていないため、就学後の保護者のフォローにも力を入れて欲しい。(委員)

(意見) 大東地区で3園(きとうこども園の開園も含む)を運営するために、職員を募集しているが、保育士が揃わない。(委員)

(意見) つくしなかよし広場で人数制限をしている。他の支援センターも予約制にしている。制限は撤廃されたが、計画の数値程の人数には届かないと思う。(委員)

(意見) 企業主導型ということで、待機児童解消対策のための認可外保育所を運営している。入所者の確保が認可園に対して難しいが、今年度は、定員の半数以上の入所者が確保できた。保育の質を図ることも難しく、認可園へ移ってしまう園児も多いため、認可園との差を感じる事もある。そのような所で市から援助があるといいと感じる。(委員)

(意見) I PADの活用に関して、導入した当初は教員も戸惑いもあったと思うが、その頃に比べて、少しずつ使い勝手が良くなってきている。

子どもが相手の事を考えて行動が出来ない部分があり、朝、夜に、I PADで先生と連絡を取ってしまうため、働き方改革で先生に負担になってしまっているのではと感じる。

チームスで大人と子どもで同じアカウントを使うことになっているため、保護者が自分の携帯につないでいると子どもがチャットを使うたびにメールが届く。

これが、課題であると思うので、学校教育課でまた考えていただけたらと思う。(委員)

(意見) 虐待が疑われるケースが発生した場合、どこに連絡したらいいかわからなかったが、こども希望課に連絡したら、話を聞いて家庭児童相談室の職員がすぐに対応してくれた。この事業が、支援事業として、計画に記載のあるものだとわかり安心した。(委員)

(意見) 朝食を食べずに登園する園児がいた。

このような事例がある中で、どのように子育てに関して関わっていかなければならないのか、今までの当たり前が当たり前では無くなっている状況である。このような事を念頭において子育てに関わっていかなければならない。(委員)

8 その他 次第により、第2回開催予定日について説明

(開催予定日 令和5年2月9日(木) 10:00～ 市役所4階会議室1AB)

9 閉会